

P 計画の基本事項				
基本目標	2 読書に親しむ環境づくり			
施策	(1) 身近な読書活動の場の充実			
施策の方向性	これまで読書に興味のなかった市民や図書館を利用できなかった市民も、気軽に読書を楽しめる環境の整備に取り組みます。そのため、図書館だけでなく市内の諸施設との連携を深め、地域の読書の場のあり方を見直すとともに、それぞれの魅力を高め、効果的な読書推進を図ります。			
主な取組	①図書館の充実			
	②学校図書室の充実			
	③地域貸出文庫の充実			
	④コミュニティセンターのコーナー充実			
	⑤気軽に読書・調べ学習ができる場の充実			
	⑥移動図書館の活用促進			
	⑦本を届けるサービスの実施			
	⑧イベントの実施			
	⑨電子図書館サービスの導入・運用			
成果指標	市民の図書館の新規利用登録者数	策定時点	目標値(R9)	
		1,458人	1,800人	
D 令和6年度(具体的な事業実施状況調査より)				
評価指標	重点事業	指標	実績(R6)	目標値(R6)
評価指標	地域貸出文庫の図書資料の充実	年間購入冊数	1,629冊	1,400冊
	コミュニティセンターの図書資料の充実	年間新規蔵書数	1,230冊	100冊
	移動図書館のイベント等への出張	年間出張回数	1回	1回
主な取組の実施状況及び今後の方針	①図書館の充実		達成状況	
	◆まどかぴあ図書館において、誰もが気持ちよく利用できるよう、利用時間やマナーなどの基本情報をまとめた掲示物を、初めての来館者にもわかりやすいよう作成した。今後は、来館者が一目で情報を把握できるよう、掲示物を継続して改善していく。		②期待どおり	
	②学校図書室の充実		達成状況	
	◆学校図書室には児童生徒が自由に使える検索用パソコンがない。貸出・返却が多い時間帯は司書や図書委員による支援が難しいため、今後は児童生徒用タブレットに検索システムを導入し、利用環境の整備を進めていく。		②期待どおり	
主な取組の実施状況及び今後の方針	③地域貸出文庫の充実		達成状況	
	◆まどかぴあ図書館において、年に2度の図書交換会と3度のリサイクル本提供を実施し、文庫の団体貸出や除籍図書の利用を促進した。しかし、利用が一部の文庫に固定化する傾向が見られ、文庫総会で直接案内しても新規参加に繋がらないなど、効果的なPRが課題となっている。今後は全ての文庫を対象に、団体貸		①効果が期待以上 ※目標を超える図書資料の充実を実施したことから、期待以上とした。	

	<p>出や除籍図書の利用を促進する働きかけを強化するとともに、文庫活動を行うボランティア支援体制も強化していく。</p> <p>◆各公民館の地域貸出文庫に関するホームページを公開しており、今後も継続していく。</p> <p>◆持続可能な地域貸出文庫の実現のため、地域貸出文庫の管理・対応業務を指定管理者の業務に追加している。</p>	
	④コミュニティセンターのコーナー充実	達成状況
	<p>◆コミュニティセンターにおいて、寄付やリサイクル本などを活用し、新たに1,230冊の図書を追加した。また、R6年度からはまどかぴあ図書館の団体貸出本閲覧コーナーを新設して読書推進に貢献しており、今後も図書コーナーの魅力向上とまどかぴあ図書館との連携を継続していく。</p> <p>◆コミュニティセンターにおいて、計20回の図書コーナーの周知を行った。新たにアプリ風HP「すまっぽん」を活用した点は評価できたが、情報発信に用いるツールが限られている課題が残った。今後は、各コミ通信やコミセンHP、広報誌への掲載など、多様な方法を用いて図書コーナーを周知していく。</p> <p>◆コミュニティセンターにおいて、まどかぴあ図書館のイベントポスターを計48回掲示して連携を行った。コミュニティセンターでまどかぴあ図書館に関する情報掲示協力は行ったが、それ以外の連携には課題が残っており、今後はコミュニティセンター側の情報もまどかぴあ図書館に掲示依頼するなど、協力体制を相互に強化していく。</p>	<p>①効果が期待以上 ※目標を超える図書資料の充実を実施したことから、期待以上とした。</p>
	⑤気軽に読書・調べ学習ができる場の充実	達成状況
	<p>◆心のふるさと館のふるさとラボにおいて、歴史・文化に関する図書を配架するとともに、複製資料を展示した。読書目的でない利用者も図書に関心を持つきっかけを提供し、読書への関心を向上させた。引き続きラボを開放し、誰もが気軽に図書を手にとれる場を提供していく。</p> <p>◆幼稚園・保育所、学校、親子サロン、ユープレの各施設で、利用者が常に本に触れられる環境を提供できた。今後は、図書の更新を進めることで読書環境のさらなる充実を図るとともに、利用者への周知を進めていく。</p> <p>◆大町公園とふるかわ公園の文庫は、利用者の約8割が満足している。両公園は管理者が近くにいるため維持できているが、他公園への文庫の拡充は困難である。引き続き、両公園において子どもだけでなく多世代のニーズに応じた本を揃え、来園者に楽しんでもらえるよう運用していく。</p> <p>◆高架下多目的施設への読書スペース設置は、R6年度において設計・建設段階にあるため未着手である。作業は順調に進んでおり、施設整備が完了した後、速やかに読書スペースを設置でき</p>	<p>②期待どおり</p>

	るよう、今後も準備に取り組んでいく。	
	⑥移動図書館の活用促進	達成状況
	<p>◆まどかぴあ図書館において、移動図書館のイベント出張を2回実施したが、天候不良により利用は低調だった。まどかぴあ図書館から積極的に提案し日程調整はできたものの、今後は時期とPR方法を見直す必要がある。いこいの森中央公園に加え、各コミュニティセンターへのお出張も調整していく。</p> <p>◆移動図書館車の巡回ステーションについて、南ヶ丘2区公民館から南コミュニティセンターへ場所を変更した。この変更後、利用減少が懸念されたが、貸出冊数・利用人数ともに増加した。また、次年度に向け、利用が増えた老松神社の運行時間延長や、熱中症対策としての7・8月の全ステーション30分運行への見直しを実施した。今後も、各ステーションの利用状況を注視し、巡回場所や運行時間の見直しを検討していく。</p>	②期待どおり
	⑦本を届けるサービスの実施	達成状況
	<p>◆まどかぴあ図書館の予約本の郵送サービスは、郵送代金が全額利用者負担となっている影響から、開始以来一度も利用されていない。今後はPR方法を検討し、利用者が増えるよう利用促進に努めていく。</p> <p>◆まどかぴあ図書館の予約本受け取りについて、R7年度のまどかぴあ図書館のシステム更新に合わせ、コミュニティセンターでの受け取りを開始する。</p> <p>◆市内全てのコミュニティセンターで運用されている返却ポストは、昨年度より利用が増加し、特にまどかぴあ図書館から遠い南コミの利用が最も多かった。この増加は利便性が周知されたためと見られ、返却ポストは地域に必要とされるものである。R7年度からは駅にもポストを設置し、まどかぴあ図書館の利便性をさらに向上させていく。</p>	②期待どおり
	⑧イベントの実施	達成状況
	<p>◆まどかぴあ図書館において、ボランティアと連携し、赤ちゃん向けから小学生向けのおはなし会やブックトークなどのイベントを実施したが、参加者の少ないブックトークについては対象年齢の見直しを慎重に検討していく。コミュニティセンターにおいて、読み聞かせ会に合わせたロビーコンサートを実施し、集客に効果があった。また、コミュニティセンターへのまどかぴあ図書館による貸出も読書への関心向上に繋がった。今後はイベント周知方法を見直して参加者増加を図るとともに、読書週間等に合わせた「おススメ本コーナー」の設置など、地域での読書啓発イベントを継続的に充実させていく。</p>	②期待どおり
	⑨電子図書館サービスの導入・運用	達成状況

	<p>◆電子図書館の登録者数は前年より減少したが、広報記事掲載で夏休み後も増加した。しかし、今後の利用統計は伸び悩むと予想されるため、他自治体を参考に、サイトの見え方や選書コンテンツを見直し、運用改善に取り組んでいく。</p> <p>◆市の働きかけにより、学校における電子図書館の利用は大幅に増加したが、あまり活用できていない学校もあった。今後も魅力的な選書に努めるとともに、児童生徒と教員への周知徹底を図るため、年度初めには事業周知を行っていく。</p>	②期待どおり
C 評価		
推進委員会 評価	◆進捗状況は「達成状況」に記載のとおり。	
検討が 必要な事項	◆なし。	
A 改善		
改善結果		